

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	地理・歴史	科目	世界史A	単位数	2	学年	2	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	必修
使用教材	教科書	東京書籍「世界史A」							
	副教材	第一学習社「ダイアログ世界史図表」							

学習目標

- ① 近現代史を中心とする世界の歴史について理解します。
- ② 諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代の諸課題を歴史的観点から考察します。
- ③ 歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。

学習方法

歴史的事象を資料や史料、様々な情報から読み取り、多角的・多面的に考察することによって、歴史的思考力を身に付けられるような学習を進めていく。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的事象に関心をもち、課題を意欲的に追究しようとする。 ・ 主体的に調べたり、協働的に活動するなど授業に積極的に参加しているか。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的事象から課題を見出し、歴史の大きな流れと各時代、各国の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。 ・ 学習問題に対する考えを友人の意見や資料から読み取り、まとめたり、説明することができる。
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料（図表を含む）や史料、情報、映像などを効果的に活用することを通して歴史的事象について追究する学びができる。また、有用な情報を適切に選択した活用することができる。
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の歴史についての基本的な知識を身に付け、各時代の特色や日本の歴史と関連のある事象について理解することができる。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				毎単元終了後授業に対する取り組みを自己評価する
学習シート		○	◎		
レポート	○	◎	○		
小テスト		○	○	◎	単元終了時
定期考査		◎	○	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

- ・ 毎時間の学習の目的を理解し、多角的・多面的に物事を見ること、一つ一つの事象を整理して見ることを意識して取り組むこと。
- ・ 歴史的事象の因果関係を理解することで自然と歴史の流れをつかむことができるようになってきます。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	第1部 近・現代世界史の背景～諸地域世界とその交流～ 序 章 古代文明の成立 第1章 ユーラシアの諸地域世界 1節 東アジア世界 2節 東南アジア世界 3節 南アジア世界 4節 西アジア世界 5節 ヨーロッパ世界 6節 南北アメリカ、アフリカ 7節 ユーラシアの交流圏 第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ 第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ 1節 中華帝国の繁栄と東アジア 2節 15～17世紀の東南アジア	15世紀頃までの前近代の世界史について、近現代史を理解する前提として位置付けて学習します。序章では、人類の誕生から古代文明の成立までを概観します。第1章では、主にユーラシアのさまざまな地域で人類がぎざぎざあげてきた歴史と文化の特質を理解します。また、これらの各地域世界が海と陸を通して古くから交流し、影響を及ぼしあってきたことについて、13世紀のユーラシア世界を例にとって考えます。	
2 学期 30単位時間	3節 西アジアと南アジア 4節 16世紀のヨーロッパ 5節 主権国家体制と世界商業 第3章 大西洋世界の変容とその波及 1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命 2節 産業革命と世界市場の拡大 3節 ヨーロッパの動乱の波及 第4章 産業化社会の拡大と成熟 1節 ウィーン体制とその崩壊 2節 国民国家への道 第5章 アジア諸国の変貌と日本 1節 東アジアの変容 2節 東南アジアの変容 3節 南アジアの変容 4節 西アジア、アフリカの変容	15世紀なかばから19世紀後半までの世界の歴史について学習します。ヨーロッパ勢力の進出によって、さまざまな世界が次第に一体化していき、一つの世界史が形成されていく様相を見ていきます。第2章では、15世紀なかばから18世紀なかばごろに成立していたアジアの諸帝国の世界と、当時ヨーロッパでおこっていた新たな動きについて学習します。第3章は、18世紀後半のヨーロッパとアメリカの諸革命の様相と、それが世界にあたえた影響について扱っています。	【評価方法】 単元終了後に行う自己評価、小テスト 学習シート レポート 定期考査
3 学期 18単位時間	第3部 現代の世界と日本 第6章 帝国と民族の時代 1節 急変する人類社会 2節 植民地の拡大と深まる国家の対立 3節 アジア、アフリカの抵抗運動 第7章 二つの世界大戦の時代 1節 第一次世界大戦 2節 戦後秩序の形成 3節 世界恐慌とファシズム 4節 第二次世界大戦	19世紀後半から今日にいたる世界の歴史について学習します。第6章では、19世紀後半から20世紀はじめの時代を取り上げ、帝国主義の動きとそれに対する抵抗運動などを通して、分裂に進む第一次世界大戦前の世界について考えます。第7章は第一次世界大戦の勃発から第二次世界大戦の終結までの時代を扱います。	